

# sangetsu

証券コード8130

株主の皆さまへ

第 **65** 期

## 中間報告書

2016年4月1日～9月30日



# TOP Message ごあいさつ

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素よりサンゲツグループへのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。当社第65期の中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

※本報告書では、2016年4月1日から2016年9月30日までを「中間」と記述しております。

代表取締役 社長執行役員  
安田 正介



## 将来の成長を見据え、事業基盤の整備や成長・新規分野への投資を計画的に進めました。

### 第65期 第2四半期の概況

当第2四半期の当社事業に関連の深い住宅市場においては、新設住宅着工戸数が本年4月～9月が前年比6.0%増と、堅調に推移いたしました。しかしながら、株式市場の低迷など全般的な景況感の停滞により、リフォーム市場は前年比マイナスの状態となるなど、力強さに欠ける状況が続きました。このような市場環境下、住宅市場だけではなく、専門性が要求される非住宅分野への積極的な営業活動や、より付加価値の高い商品の開発に注力すると共に、仕入価格の削減努力など、稼ぐ力を培った結果、売上総利益は向上しました。一方、将来の成長のための投資は計画通り実行したことにより、当第2四半期の連結業績は、売上高649億89百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益35億58百万円（前年同期比22.0%減）、経常利益39億64百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

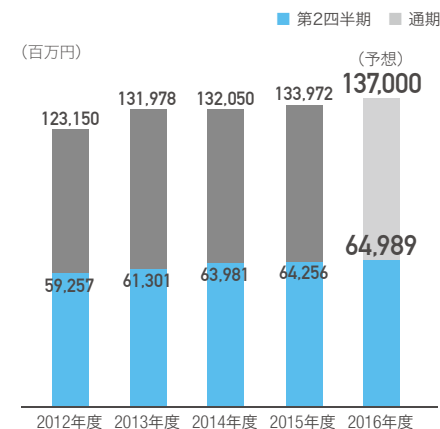
株主の皆さまへの利益還元といたしましては、中長期的に持続可能な株主還元策の拡充を行うことを基本方針とし、中間配当金につきましては、1株あたり25円とさせていただきます。

### “中期経営計画 Next Stage Plan G”進捗状況

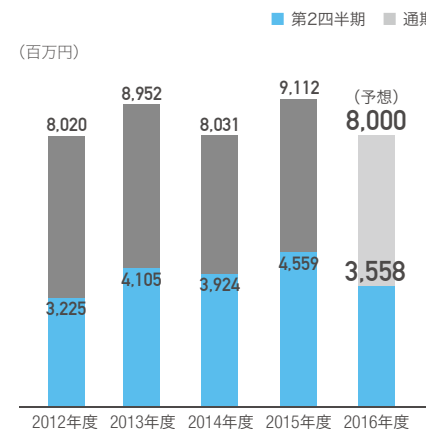
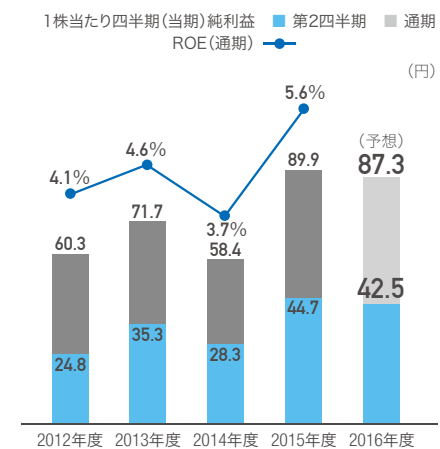
当社グループでは、“中期経営計画(2014-2016)Next Stage Plan G”の最終年度を迎え、将来の成長に向けた事業基盤の整備や事業戦略の再構築を実行しております。本年4月には新しいブランド理念“Joy of Design”を発表。また、インテリアのトータルデザインを提案する企業として、より身近に最新のインテリアを楽しんでいただける地方型ショールームを仙台、沖縄、金沢に新設しました。物流体制の強化では、8月に北関東ロジスティクスセンター（埼玉県久喜市）の稼働を開始し、10月には中部ロジスティクスセンターⅡ（愛知県稲沢市）が竣工、2017年1月に稼働を予定するなど、物流拠点の統廃合を進めています。さらに、新基幹システムや新物流システムの導入に向けた準備を進めており、本中期経営計画で掲げた「強靱で成長力のある企業」へ、社員一人ひとりが会社を担うという気概を持って取り組みを加速させています。

今後も、“Total Interior”から“Joy of Design”へ、“安定企業”から“成長企業”へ、グループ一丸となって邁進してまいります。株主の皆さまにおかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

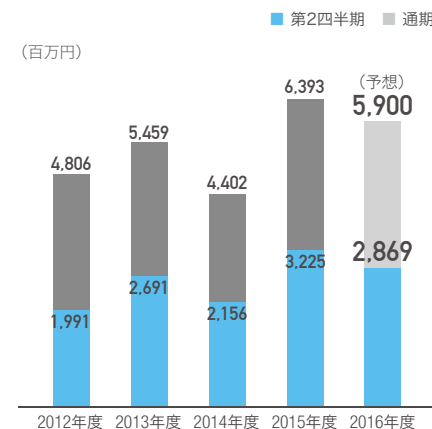
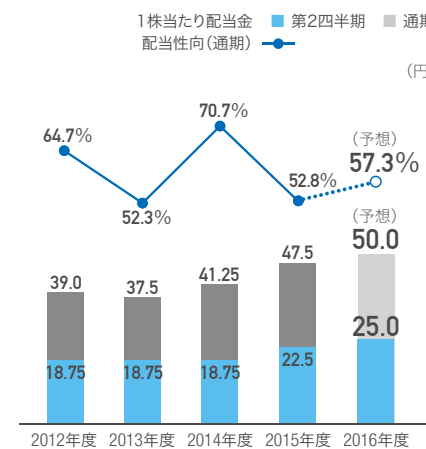
## 決算ハイライト(連結)



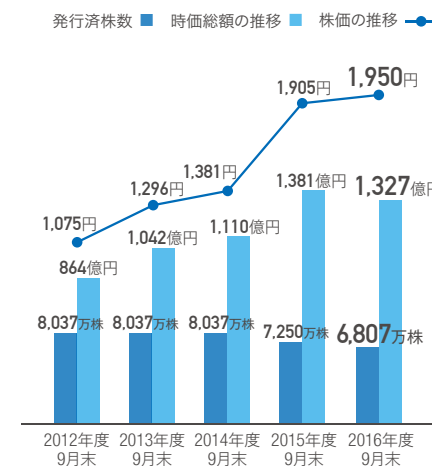
### 1株当たり四半期(当期)純利益 ROE



### 1株当たり配当金 配当性向



### 発行済株数 時価総額の推移 株価の推移



※当社は、2015年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2013年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、各指標を算定しております。



セグメント別の事業概況

インテリア事業  
株式会社サンゲツ

壁装材・床材・ファブリックの3事業からなるインテリア事業では、“中期経営計画（2014-2016）Next Stage Plan G”を着実に実行し、市場を起点とした商品開発と営業戦略の強化を進めました。

貼り分けによる空間演出も魅力のひとつ。  
お部屋で最も面積の広い、壁や天井を彩るアイテム。

壁装材

壁装事業では、本年5月に主力見本帳「リザーブ」を発刊しました。「ペットとともに暮らす」や「子どもと一緒に遊ぶ」など、5つのコンセプトに基づくコーディネート提案で、消費者のお好みに合わせて選定しやすい工夫を行ったほか、「個性と洗練」をテーマとし、より意匠性にこだわった商品シリーズ「process#100」を提案し、ニーズが多様化するインテリア市場へ訴求しました。また、賃貸住宅市場においては、デザイン性の高い壁紙をアクセントとして取り入れることで、住空間の価値向上をご提案しました。



豊富な素材と機能で、住宅からオフィス、商業施設など  
さまざまな空間の足元を飾ります。

床材

床材事業では、非住宅分野における商業施設や宿泊施設ならびにオフィスの新築や改装需要の獲得に努めました。本年9月には、クッションフロア見本帳「H-FLOOR」と、マンションの廊下やベランダに施工する防滑性シート見本帳「ノンスキッド」を発刊し、持家、貸家、マンション市場への拡販に注力しました。また、「H-FLOOR」見本帳では、3名の新進気鋭のアーティストとのコラボレーションによるデザイン開発を行い、ご好評いただいています。



季節やお部屋に合わせてファブリックの魅力を味わえる、  
カーテンや椅子生地のコレクション。

ファブリック

ファブリック事業では、昨年度に発刊したカーテン見本帳「ACカーテンファブリックス」のコーディネートセミナーの開催や、インテリアショップへの展示提案などを通じて市場への浸透に努めました。また5年ぶりに、「デザイン」とメンテナンス性などの「機能」が充実した椅子生地総合見本帳「UP(アップ)」を9月に発刊し、家具メーカーや設計事務所などへの積極的な営業活動を強化しました。



インテリア事業

|       |           |
|-------|-----------|
| 売上構成比 | 86%       |
| 売上高   | 55,715百万円 |
| 営業利益  | 3,365百万円  |
| 前年同期比 | +1.1%     |
| 前年同期比 | △25.2%    |

インテリア事業における（壁装材）

|       |           |
|-------|-----------|
| 売上構成比 | 49%       |
| 売上高   | 27,488百万円 |
| 前年同期比 | +0.1%     |

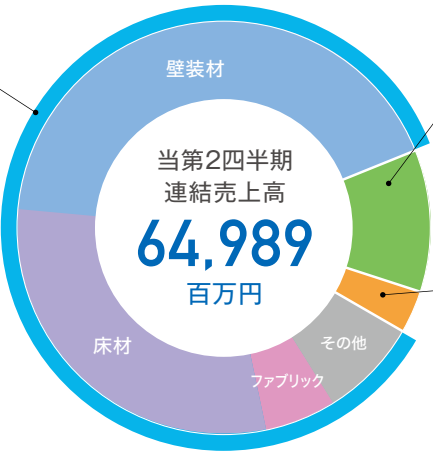
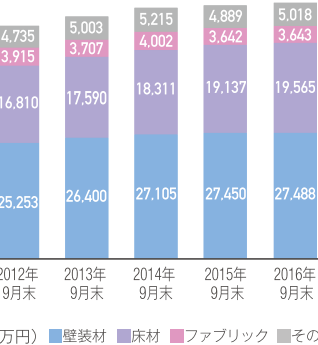
インテリア事業における（床材）

|       |           |
|-------|-----------|
| 売上構成比 | 35%       |
| 売上高   | 19,565百万円 |
| 前年同期比 | +2.2%     |

インテリア事業における（ファブリック）

|       |          |
|-------|----------|
| 売上構成比 | 7%       |
| 売上高   | 3,643百万円 |
| 前年同期比 | +0.0%    |

インテリア事業エレメント別  
売上高の推移



エクステリア事業

|       |          |
|-------|----------|
| 売上構成比 | 11%      |
| 売上高   | 7,254百万円 |
| 営業利益  | 203百万円   |
| 前年同期比 | +1.0%    |
| 前年同期比 | +33.8%   |

照明器具事業

|       |          |
|-------|----------|
| 売上構成比 | 3%       |
| 売上高   | 2,051百万円 |
| 営業利益  | △4百万円    |
| 前年同期比 | +4.0%    |
| 前年同期比 | —        |

エクステリア事業  
株式会社サングリーン

門扉やフェンス、バルコニーなど、  
お庭の快適さや豊かさ、  
楽しさを演出します。

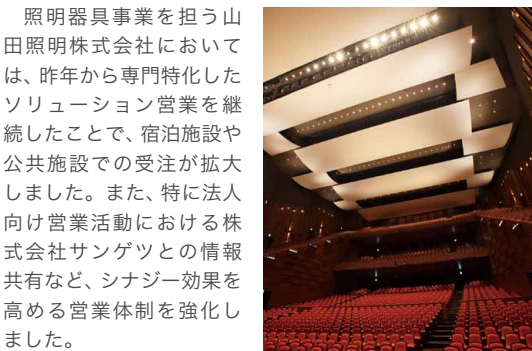


暮らしの中にある、サンゲツグループの商品



照明器具事業  
山田照明株式会社

光と陰影が空間に深みを与える、  
高い「光の質・制御性・デザイン性」を  
持つ照明器具。



連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

(単位：百万円)

|              | 期別 | 前期末          | 当第2四半期末      | 増減額     |
|--------------|----|--------------|--------------|---------|
| 区分           |    | 2016年3月31日現在 | 2016年9月30日現在 |         |
| 資産の部         |    |              |              |         |
| 流動資産         |    | 88,825       | 84,862       | △ 3,963 |
| 固定資産         |    | 50,395       | 53,985       | 3,590   |
| 〈 有形固定資産 〉   |    | 31,003       | 33,614       | 2,611   |
| 〈 無形固定資産 〉   |    | 1,295        | 2,058        | 763     |
| 〈 投資その他の資産〉  |    | 18,095       | 18,312       | 217     |
| 資産合計         |    | 139,220      | 138,848      | △ 372   |
| 負債の部         |    |              |              |         |
| 流動負債         |    | 22,716       | 24,330       | 1,614   |
| 固定負債         |    | 7,986        | 7,529        | △ 457   |
| 負債合計         |    | 30,702       | 31,860       | 1,158   |
| 純資産の部        |    |              |              |         |
| 株主資本         |    | 108,058      | 107,023      | △ 1,035 |
| 資本金          |    | 13,616       | 13,616       | -       |
| 資本剰余金        |    | 20,005       | 20,005       | -       |
| 利益剰余金        |    | 76,185       | 75,155       | △ 1,030 |
| 自己株式         |    | △ 1,748      | △ 1,753      | △ 5     |
| その他の包括利益累計額  |    | 402          | △ 123        | △ 525   |
| その他有価証券評価差額金 |    | 2,909        | 2,046        | △ 863   |
| 為替換算調整勘定     |    | △ 237        | △ 278        | △ 41    |
| 退職給付に係る調整累計額 |    | △ 2,268      | △ 1,891      | 377     |
| 新株予約権        |    | 55           | 87           | 32      |
| 純資産合計        |    | 108,517      | 106,987      | △ 1,530 |
| 負債純資産合計      |    | 139,220      | 138,848      | △ 372   |

資　　産（前期末対比 △372百万円）

流動資産（△3,963百万円）

期末需要期と比較して、季節変動の影響により、売上債権が4,016百万円減少しました。

固定資産（+3,590百万円）

物流体制強化の為、拠点の統廃合を進めており、有形固定資産が2,611百万円増加しました。また、新基幹システム導入に伴うソフトウェアの増加等により、無形固定資産が763百万円増加しました。

負　　債（前期末対比 +1,158百万円）

流動負債（+1,614百万円）

仕入債務の支払日数改善により、電子記録債務が3,200百万円増加したこと等によるものです。

固定負債（△457百万円）

確定拠出年金制度の導入により、従来の退職給付債務の一部を移換したことで、922百万円減少したこと等によるものです。

純　資　産（前期末対比 △1,530百万円）

自己株式（△5百万円）

資本政策による自己株式の消却により、2,189百万円減少しました。また、投資一任方式買付による自己株式の取得により、2,214百万円増加しました。

その他有価証券評価差額金（△863百万円）

保有株式の時価下落による投資有価証券時価評価額減少により、863百万円減少しました。

連結損益計算書（要旨）

| （単位：百万円、％）           |    |                              |                              |         |        |
|----------------------|----|------------------------------|------------------------------|---------|--------|
|                      | 期別 | 前第2四半期                       | 当第2四半期                       | 増減額     | 増減率    |
| 区分                   |    | 2015年4月　1日から<br>2015年9月30日まで | 2016年4月　1日から<br>2016年9月30日まで |         |        |
| 売上高                  |    | 64,256                       | 64,989                       | 733     | 1.1    |
| 売上原価                 |    | 45,426                       | 45,606                       | 180     | 0.4    |
| 売上総利益                |    | 18,829                       | 19,382                       | 553     | 2.9    |
| 販売費及び一般管理費           |    | 14,269                       | 15,824                       | 1,555   | 10.9   |
| 営業利益                 |    | 4,559                        | 3,558                        | △ 1,001 | △ 22.0 |
| 営業外収益                |    | 231                          | 425                          | 194     |        |
| 営業外費用                |    | 28                           | 18                           | △ 10    |        |
| 経常利益                 |    | 4,762                        | 3,964                        | △ 798   | △ 16.7 |
| 特別利益                 |    | 12                           | 108                          | 96      |        |
| 特別損失                 |    | 53                           | 102                          | 49      |        |
| 税金等調整前<br>四半期純利益     |    | 4,721                        | 3,971                        | △ 750   | △ 15.9 |
| 法人税、住民税及び事業税         |    | 1,369                        | 1,260                        | △ 109   |        |
| 法人税等調整額              |    | 126                          | △ 158                        | △ 284   |        |
| 四半期純利益               |    | 3,225                        | 2,869                        | △ 356   | △ 11.0 |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 |    | 3,225                        | 2,869                        | △ 356   | △ 11.0 |

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

| （単位：百万円）                |    |                              |                              |          |
|-------------------------|----|------------------------------|------------------------------|----------|
|                         | 期別 | 前第2四半期                       | 当第2四半期                       | 増減額      |
| 区分                      |    | 2015年4月　1日から<br>2015年9月30日まで | 2016年4月　1日から<br>2016年9月30日まで |          |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        |    | 6,236                        | 8,186                        | 1,950    |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        |    | 8,849                        | △ 9,937                      | △ 18,786 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        |    | △ 4,464                      | △ 3,932                      | 532      |
| 現金及び現金同等物に係る<br>換算差額    |    | 0                            | △ 27                         | △ 27     |
| 現金及び現金同等物の増減額<br>（△は減少） |    | 10,621                       | △ 5,710                      | △ 16,331 |
| 現金及び現金同等物の期首残高          |    | 15,540                       | 27,998                       | 12,458   |
| 現金及び現金同等物の<br>四半期末残高    |    | 26,162                       | 22,288                       | △ 3,874  |

当第2四半期決算の概要

売上高733百万円増加、四半期純利益356百万円減少で前年同期比「増収減益」の決算となりました。営業利益は販売費及び一般管理費の負担増（前年同期比+1,555百万円）により、前年同期比1,001百万円の減益となりました。

販売費及び一般管理費の概要（前年同期比 +1,555百万円）

物流・設備関連

主に、物流拠点・設備の統廃合による費用の増加や、これに伴う固定資産の耐用年数を見直したことにより、減価償却費が増加しました。

人材関連

主に、受注業務の業務委託（BPO契約）に伴う移行費や、国債の利回り低下、株価下落による年金運用悪化、確定拠出年金導入の掛け金により、退職給付費用が増加しました。

この他、ショールーム3拠点の新設、基幹システム導入等の事業基盤の整備の為の諸施策により、販売費及び一般管理費は1,555百万円増加しました。

営業外収益（前年同期比 +194百万円）

関連会社ウェーブロックホールディングスの持分法による投資利益163百万円の増加等により、営業外収益は194百万円増加しました。

特別損失（前年同期比 +49百万円）

前年度の品川ショールームへの移転に伴う固定資産廃棄損失計上の反動で20百万円の減少となった一方、北関東支社の移転に伴い契約差額損失67百万円を計上したこと等により、特別損失は49百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フロー（前年同期比 +1,950百万円）

営業活動によるキャッシュ・フローは、8,186百万円の収入となりました。これは主に、売上債権の減少及び仕入債務の増加によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー（前年同期比 △18,786百万円）

投資活動によるキャッシュ・フローは、9,937百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出及び有価証券の取得による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー（前年同期比 +532百万円）

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,932百万円の支出となりました。これは主に、自己株式の取得、配当金の支払によるものです。



2016年度上半期のサンゲツグループ

“中期経営計画(2014-2016)Next Stage Plan G”に基づく、当上半期における主な事業活動をご紹介します。

Next Stage Plan G

強靱で成長力のある企業を目指す



▶ 事業基盤の整備：既存事業の拡張

小型ショールーム3拠点を新設

仙台、沖縄、金沢の3つの地区に、小型ショールームを新しく開設しました。“インテリアをもっと身近に、リフォームをもっと楽しく”をテーマとして、商品展示はもちろん、ご自宅の室内画像を使用したシミュレーションシステムを導入するなど、お客さまのお好みに合ったコーディネート 아이디어を提案します。地域に根差したショールームとして、暮らしをデザインするよろこびを体感できる空間を目指します。



最新インテリアや暮らしのヒントにあふれる空間です。

【小型ショールーム概要】

sangetsu design studio

Iサンゲツ仙台ショールーム

2016年6月1日OPEN  
宮城県仙台市若林区六丁目字南98-1  
サンゲツ東北支社 1F ☎ 022-287-3922

Iサンゲツ沖縄ショールーム

2016年6月18日OPEN  
沖縄県宜野湾市字大謝名215  
レキオスクエア宇地泊2F ☎ 098-890-3788

Iサンゲツ金沢ショールーム

2016年10月1日OPEN  
石川県金沢市大友2-101  
サンゲツ北陸支店 1F ☎ 076-238-1411

「北関東ロジスティクスセンター」稼働開始

2016年8月、埼玉県久喜市に新しい物流拠点「北関東ロジスティクスセンター」を稼働開始しました。東北道や圏央道など主要幹線道路の集まる交通利便性を活かし、首都圏及び北関東エリアの配送体制を強化します。業務効率化による人的コスト削減や、配送効率化による車両台数の削減にも取り組み、コストと配送力における競争力の強化を目指します。



8月17日に稼働開始した北関東ロジスティクスセンター

▶ 事業戦略の再構築：成長戦略の推進

中国現地法人「山月堂(上海)装饰有限公司」を設立

2016年4月、中国市場におけるサンゲツブランドの構築、浸透を図るため、中国現地法人「山月堂(上海)装饰有限公司」を設立し、7月に営業を開始しました。中国現地法人では、中国向けの商品ラインアップで在庫を整備し、壁紙を中心とした販売体制を構築します。中国では、壁面の仕上げ材のほとんどが塗装仕上げで壁紙は仕上げ材の約8%とされていますが、出荷量は日本の約2倍。また、住宅の西欧化が進んでいることから壁紙のニーズは年々高まっています。現地法人の設立を起点として、アジア圏での成長戦略を推進していきます。



海外市場向け専用見本帳

【中国現地法人概要】

社 名：山月堂(上海)装饰有限公司  
所 在 地：上海市徐匯区  
出 資：サンゲツ 100%  
事業内容：壁紙を中心とした内装材の販売

▶ ステークホルダーの評価向上

IR 活動

個人投資家向け IR イベントに出展

2016年7月に名古屋で開催された「名証IR EXPO2016」と、8月に東京で開催された「日経IR・投資フェア2016」に参加しました。自社ブースでの会社説明会には多くの投資家の皆さまにお越しいただき、会場は大変盛況でした。今後も、適切かつ公平な情報開示を軸として、投資家の皆さまとのコミュニケーションを深め、IR活動の充実を図っていきます。



会社説明会には多くの方にご参加いただきました。

CSR 活動

当社商材を活用した児童福祉施設の改装支援

当社は、本業を通じた社会貢献として、児童福祉施設を中心に、当社商材を活用した改装支援を行っています。改装にあたっては社員も施工者のお手伝いをするなど、社員自身が主体的に活動に参加しています。サンゲツはこれからも、より豊かな社会づくりに貢献するために、地域貢献や環境・省エネ活動など、さまざまな社会貢献活動を積極的に行っていきます。



名古屋市内の児童養護施設に当社の壁紙とカーテンを使用したリフォームを実施。明るくなったお部屋に、施設の皆さまにも喜んでいただきました。

株主還元策 中期経営計画で発表した資本政策に基づき、下記の株主還元策を実施しました。

|                             |          |                |       |        |
|-----------------------------|----------|----------------|-------|--------|
| ■ 中間配当：25円へ増配（昨年中間配当：22.5円） | ■ 自己株式取得 | 2016.4. 1～4.26 | 63万株  | 12.7億円 |
|                             |          | 2016.7.11～8.30 | 50万株  | 9.3億円  |
|                             |          | 計              | 113万株 | 22億円   |

会社概要と株式の状況

会社概要 (2016年9月30日現在)

社 名：株式会社サンゲツ (Sangetsu Corporation)  
本 社：愛知県名古屋市西区幅下1丁目4番1号  
設 立：1953年4月21日 (創業嘉永年間)  
資 本 金：136億1,610万円  
年 商：1,339億円 (2016年3月期連結)  
従業員数：1,474名 (2016年3月期連結)  
上場証券取引所：東京1部、名古屋1部

役員の状況 (2016年9月30日現在)

|       |        |       |
|-------|--------|-------|
| 代表取締役 | 社長執行役員 | 安田 正介 |
| 取締役   | 常務執行役員 | 佐々木修二 |
| 取締役   | 執行役員   | 志水 済  |
| 取締役   | 執行役員   | 吉川 恭伴 |
| 取締役   | 執行役員   | 伊藤 研治 |
| 社外取締役 | 監査等委員  | 那須 國宏 |
| 社外取締役 | 監査等委員  | 古角 保  |
| 社外取締役 | 監査等委員  | 羽鳥 正稔 |
| 社外取締役 | 監査等委員  | 浜田 道代 |
| 取締役   | 監査等委員  | 田島 貴志 |

株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数：290,000,000株  
発行済株式の総数： 68,070,000株  
株 主 数： 4,945名

主な事業所 (2016年9月30日現在)

本社：名古屋  
支社：北海道、東北、北関東、東京、中部、関西、中国四国、九州  
支店/営業所：北東北、福島、東関東、多摩、横浜、厚木、前橋、宇都宮、新潟、水戸、長野、岐阜、岡崎、北陸、静岡、京都、神戸、東大阪、南大阪、広島、四国、北九州、熊本、南九州、沖縄 ほか

大株主の状況 (2016年9月30日現在)

| 株主名                                                                                              | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------|
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST | 5,022   | 7.4     |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS                                     | 2,993   | 4.4     |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)                                                                         | 2,499   | 3.7     |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)                                                                           | 2,263   | 3.3     |
| (株)三菱東京UFJ銀行                                                                                     | 2,082   | 3.1     |
| (株)大垣共立銀行                                                                                        | 2,064   | 3.0     |
| 日比 祐市                                                                                            | 2,040   | 3.0     |
| 日比 東三                                                                                            | 1,943   | 2.8     |
| NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY                                                     | 1,770   | 2.6     |
| 三輪 雅恵                                                                                            | 1,710   | 2.5     |

(注) 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

子会社

- 株式会社サングリーン (名古屋市守山区)
- Sangetsu America, Inc. (ニューヨーク)
- 山田照明株式会社 (東京都千代田区)
- 山月堂 (上海) 装饰有限公司 (上海)

関連会社

ウェーブロックホールディングス株式会社

ショールーム

sangetsu design site FLAGSHIP

サンゲツ品川ショールーム

sangetsu design site

サンゲツ名古屋ショールーム

サンゲツ大阪ショールーム

サンゲツ福岡ショールーム

sangetsu design studio

サンゲツ仙台ショールーム

サンゲツ金沢ショールーム

サンゲツ岡山ショールーム

サンゲツ広島ショールーム

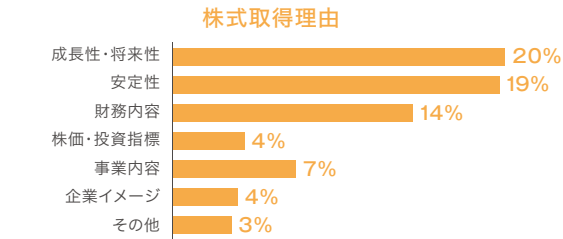
サンゲツ沖縄ショールーム

株主さまアンケート結果のご報告

第64期中間報告書で実施いたしましたアンケートにつきまして、420名の株主の皆さまからご回答をいただきました。皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。ここでは、アンケート集計結果の一部をご報告させていただきます。

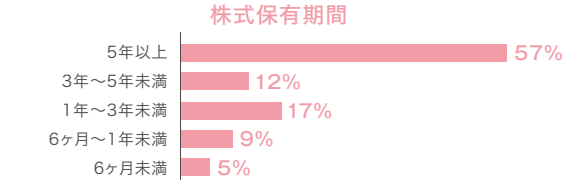
Q.1 当社株式の取得理由

当社の「成長性・将来性」に魅力を感じていただいた株主さまが最も多く、次いで「安定性」が株式取得の理由となっています。



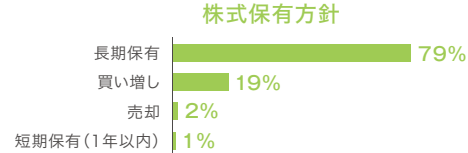
Q.2 当社株式の保有期間

5年以上、長期的に保有いただいている株主さまが50%を超えています。また1～3年未満の方は新体制に対する期待の高さと受け止めています。



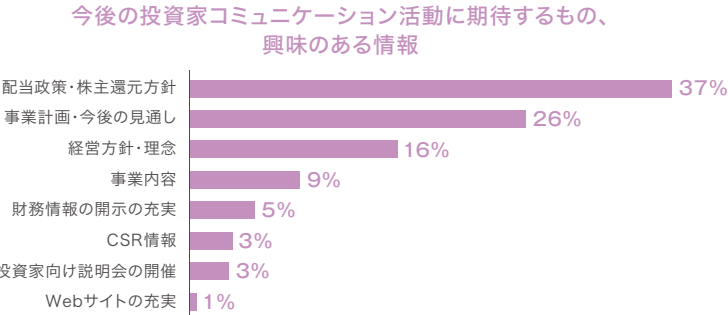
Q.3 当社株式の保有方針

今後も、長期的に当社株式の保有を予定いただいている株主さまが79%を占めています。



Q.4 当社の投資家コミュニケーション活動に期待するもの、興味のある情報

配当政策や株主さまへの還元をはじめ、今後の事業展開にもご期待をいただいています。



自由記述欄では、当社の事業や商品開発に向けた期待や、株価や株主還元に関するご要望など、さまざまなご意見をいただきました。当社はこれからも、いただいた貴重なご意見・ご提言を真摯に受け止め、事業活動の一層の充実に向けて努力してまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

サンゲツWEBサイトのご案内

株式会社サンゲツに関する情報は、WEBサイトからもご覧いただけます。IR情報のほか、より良い住まいづくりや、暮らしに役立つ情報を豊富にご紹介しています。



[www.sangetsu.co.jp](http://www.sangetsu.co.jp)

「IR情報」より、決算情報やプレスリリースなどをご覧いただけます。

# Joy of Design

私たちは、新しい空間を創り出す人々にデザインするよろこびを提供します。

サンゲツは2016年4月1日に、新しいブランド理念を発表しました。  
私たちはこれからも、このブランドステートメントに込めた想いと共に、  
インテリアのトータルデザインを提案していきます。



## 【写真紹介】

RE-2402「SUGAR CUBE」(process#100シリーズ)壁紙見本帳「リザーブ1000 2016-2018」収録

表紙では、弊社の商品をご紹介します。

今回ご紹介しているRE-2402「SUGAR CUBE」は、角砂糖がゆっくりと溶けていく瞬間にインスピレーションを受けた壁紙です。砂糖のかけらが輝きながら溶けていくように、穏やかに時過ぎる、そんな上質な生活空間を演出します。

## 株式事務についてのご案内

|                          |                                                                                                                                            |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                     | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                                          |
| 剰余金の配当の基準日               | 期末配当 3月31日<br>中間配当 9月30日                                                                                                                   |
| 定期株主総会                   | 6月                                                                                                                                         |
| 株主名簿管理人及び<br>特別口座の口座管理機関 | 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関<br>三菱UFJ信託銀行株式会社<br>同連絡先<br>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-232-711 (通話料無料)             |
| 公告掲載方法                   | 公告掲載URL <a href="http://www.sangetsu.co.jp">www.sangetsu.co.jp</a><br>ただし、事故その他やむを得ない事由によって<br>電子公告による公告をすることができない場合には、<br>日本経済新聞に掲載いたします。 |

### (ご注意)

- 1.株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式会社 サンゲツ

〒451-8575 愛知県名古屋市西区幅下1-4-1  
[www.sangetsu.co.jp](http://www.sangetsu.co.jp)

